

新基地建設反対名護共同センターニュース

「本部港の軍事利用は許さない！」



米軍ボート（左側）とけん引する米軍車両を前に抗議する県民

沖縄県基地対策課は、在沖米海兵隊から米軍船舶「オープンウォーターセーフティボート」（救助用船舶）が17日と21日に本部港を利用すると通告してきたと発表しました。県は使用の自衛隊を海兵隊や防衛局に求めましたが、米側は「伊江島補助飛行場での訓練のために必要だ」と応じない意向を示したと言います。このため17日早朝から地元本部町の島ぐるみ会議やうるま市9条の会などから約60人の県民が本部港に駆けつけ「本部港の軍事利用は許さない」と抗議の声を上げました。けん引する米軍車両に車両ナンバーがない違法車両であることが県民から指摘されたこともあり、米軍車両と同ボートは終日入り口前で立ち往生。この日に入港することはできませんでした。

県民と全港湾などの抗議行動で
海兵隊船舶の港への進入を阻止

辺野古、高江の基地闘争を強めよう！ やんばる統一連が総会開く

やんばる統一連は14日、名護市内で第11回総会を開きました。加盟団体の民商、医療生協、新婦人、共産党などの代表が参加しました。総会では市議選、知事選、県民投票などこの1年間の取り組みを総括し、辺野古、高江の基地闘争や学習活動を強化するなど今後の運動方針を確認しました。

確認された新役員体制は、代表・仲本興真（民商）、副代表・豊島晃司（医療生協）同・諸喜田武（民商）事務局長・比嘉末美（民商）。幹事に共産党、医療生協、平和委員会、新婦人、年金者組合から選出。特別幹事に具志堅徹前県議を選出しました。



労組も「港の軍事利用は反対」 全港湾労組員も数十人が待機

全港湾労組沖縄地方本部の組合員約50人も本部港の入り口に待機しました。同労組は大会方針で「民間港湾の軍事利用に反対」を掲げています。海兵隊船舶の入港に抗議する県民が機動隊に排除され、同船舶が港湾内に入ることになったら同労組として抗議、阻止する構えでいました。

へり基地反対協が「ブログ」を更新中—ご覧ください。

民意を無視し、コンクリートミキサー車や石材を積んだトラックが毎日、3回数十台が入っている。→その度に機動隊が座り込む県民を排除する↓



K1護岸の外側に高波や台風対策でテトラポットを積み上げる防衛局→

へり基地反対協が8月から「ブログ」を更新しています。13日付けNO,7(一部)を転載します。ぜひご覧ください。
<http://www.mco.ne.jp/~herikiti/blog.html>

へり基地反対協ブログ 2019年9月13日 No.7

本日、木曜日 シュワブゲート前に本土からの支援者含め、最高で110人集まった。平日でも、たくさんの方が駆けつけてくれる。ここ辺野古は、日本の良心が集まっている。運動が大きく広がっているのを感じる。写真のように排除されても、毎日、毎日それこそ愚直の言葉がふさわしい。何も焦る必要はない。じっと我慢してやる。火種を大切に、取りくむ。辺野古は学習の場であり、文化薫る人間成長の場である。一人一人が主人公だ。ヒーローはいらない。辺野古の座り込みに、いや座りこまずに、テントに弁当持って、コーヒーもって人間交流の場。辺野古に駆け付けよう。きっと何かが見える。やりたくない仕事をしている機動隊のみなさんにもリスペクトの精神で接しよう。現場では説得活動と呼び掛けている。辺野古が変わってきた？